※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地基 705「高等学校　地学基礎」（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を受けて、時間と空間の認識をより広げ、「宇宙における地球」、「地球の構造と諸現象」、「地球と生命の歴史」という視点から地球と人類をとらえなおして下さい。また、どのように生き、行動すれば自然と調和し、自然災害から命を守れるのか？ということを常に意識して、学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地球の構造や活動、大気・海洋のはたらき、宇宙の構成などについて基本的な概念や法則を理解している。
【思考力、判断力、表現力等】
自然現象について、観察・実験や資料をもとに科学的に考察し、因果関係を捉えて説明することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
身近な自然現象や地球環境に関心をもち、主体的に探究できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを，言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 地球のすがた	第1節 地球の概観 第2節 プレートの運動	a:地球の層構造(地殻・マントル・外核・内核)と，各層の特徴を理解し，知識を身に付けている。3 種類のプレートの境界の特徴を理解し，知識を身に付けている。 b:岩石と鉄の密度の比較を通して，地球内部の各層の密度の違いについて考察することができる。 c:地球内部の層構造や各層を構成する物質の違いに関心をもち，地球内部のなりたちを意欲的に探究しようとしている。プレートの境界について関心をもち，意欲的に学習しようとしている。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容(メモ書き等) ・提出物
	第2章 地球の活動	第1節 地震 第2節 火山活動	a: 地震の発生と分布の特徴について理解し，知識を身に付けている。火山の形の特徴とマグマの性質との関係を理解し，知識を身に付けている。 b:世界の火山分布と日本の火山分布の資料から，マグマの発生する場所について，地下のプレートと関連させて考察することができる。 c: 地震の発生と分布の特徴に関心をもち，地震のおこるしくみについてプレートの運動と関連させて，意欲的に探究しようとしている。火山の形成に関心をもち，火山活動について意欲的に学習しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

２学期	第3章 大気と海洋	第1節 地球のエネルギー収支	a:風が吹くしくみ，海陸風や季節風の違いを理解し，知識を身に付けている。大気の大循環および，各地域での大気の動きを理解し，知識を身に付けている。海流，深層水の大循環モデルを理解し，知識を身に付けている。 b: 塩水を用いた再現実験を通して，深層に及ぶ循環のしくみについて考察することができる。 c: 風が吹くしくみに関心をもち，海陸風や季節風について意欲的に学習しようとしている。海洋表層の循環，深層に及ぶ循環について関心をもち，海水の役割について意欲的に学習しようとしている。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容（メモ書き等） ・提出物
		第2節 大気と海水の運動				
	第4章 宇宙と地球	第1節 宇宙と太陽の誕生	a: 宇宙の探究の歴史について理解し，知識を身に付けている。太陽系の小惑星の特徴を理解し，知識を身に付けている。 b: それぞれの惑星の環境の違いから，その違いの要因について考察することができる。 c: 宇宙の探究の歴史に関心をもち，宇宙の構造やその誕生過程について意欲的に探究しようとしている。太陽系の小天体に関心をもち，その起源や形成過程について意欲的に学習しようとしている。			
		第2節 太陽系と地球の誕生				

※令和４年度以降入学生用

3学期	第5章 生物の変遷と地球環境	第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷	a: 風化のしくみや河川の働きから，地層の形成について理解し，知識を身に付けている。先カンブリア時代から新生代第四紀までの，地球と生物の変遷を理解し，知識を身に付けている。 b: 地球の酸素濃度や二酸化炭素濃度のグラフから，当時の環境や，生物の進化・絶滅について考察することができる。 c: 風化と河川の働きに関心をもち，地層の形成過程について意欲的に探究しようとしている。地質時代における生物界の移り変わりのようすに関心をもち，地球の生い立ちを意欲的に探究しようとしている。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容（メモ書き等） ・提出物
	第6章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	a: 気候変動や地球温暖化の原因，地域による影響の違いを理解し，知識を身に付けている。自然エネルギーや日本の資源について理解し，知識を身に付けている。 b: 世界の平均気温のデータから作成したグラフなど，地球温暖化に関する資料を判読し，地球温暖化の原因や，影響を考察することができる。 c: 地球の気候変動と環境への影響や人間活動との関わりに関心をもち，意欲的に学習しようとしている。自然の恩恵について関心をもち，資源としての利用方法を意欲的に学習しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度